

業績ハイライト (2021年9月期)

中間純利益(連結) **33**億円 (前年同期比 +12億円)

コア業務純益 **39**億円 (前年同期比 +7億円)

貸出金残高 (9月末) **19,230**億円 (前年同期比 +562億円)

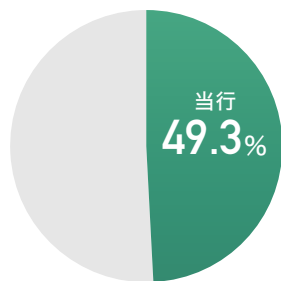
中小企業等貸出金残高 (9月末) **11,574**億円 (前年同期比 +448億円)

預金等残高 (9月末) **32,693**億円 (前年同期比 +953億円)

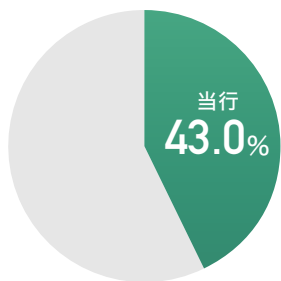
自己資本比率(連結) (9月末) **11.79%** (前年同期比 Δ 0.01%)

県内シェア (2021年3月中平均残高ベース)

預金等県内シェア



貸出金県内シェア



※県内シェアは、国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)および信用金庫による割合です。

株式情報

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月中に開催します

配当金の基準日 期末配当: 3月31日
中間配当: 9月30日

1単元の株式数 100株

単元未満株式の買取り
【取扱場所】
(特別口座)
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
【株主名簿管理人】
(特別口座)
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
電話: 0120-232-711 (フリーダイヤル)
受付時間: 平日9時~17時(土・日・祝日を除く)

公告掲載方法 電子公告により行います。
(当行ホームページ <https://www.iwatebank.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によっては電子公告による公告をすることができない場合は、盛岡市において発行する岩手日報及び東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

2021年12月発行
株式会社 岩手銀行 総合企画部 広報CSR室
〒020-8688 盛岡市中央通一丁目2番3号
TEL 019-623-1111(代表)



ホームページ



いわぎんレポート 2021

営業の中間ご報告
2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



ミライを、グッドに。

岩手銀行
The Bank of Iwate, Ltd.

代表取締役頭取
田口幸雄



平素より、岩手銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。あわせまして、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けている皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

当行では2019年4月よりスタートした中期経営計画「いわぎんフロンティアプラン ～To the Next～」に基づき、「地域の未来を共に創るCSVの実践」をテーマとしてさまざまな取り組みを進めています。CSV (Creating Shared Value) とは、「共通価値の創造」を意味します。本計画では、お客さまとの関係性強化に努め、地域の課題に正面から向き合い、その解決に取り組んでいくことで地域と当行にとっての共通価値を創造し、ともに成長していくことを目指しています。

現在、前半2年間で進めた経営体質強化や事業基盤整備への取り組みを、収益に結びつけていく後半2年間に入り、銀行・リース・カード・コンサル・地域商社などで構成される「いわぎん総合金融グループ」として連携と協同を進めており、その取り組みが成果として表れてきています。

2021年度上期は、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けているお取引先事業者の資金繰り支援を継続するとともに、本業支援へと軸足を移し、お取引先事業者の販路拡大や事業継続に向けた支援を行ってきました。また、ウィズコロナに向けた非対面化と同時にデジタル化への対応として、投資信託やローン商品のWEB完結化などを積極的に実施しました。さらに、地域社会のカーボンフリー実現に貢献するため、自治体の取り組みをサポートするとともに、当行自らが脱炭素への取り組みを強化すべく、TCFDへの賛同を表明しました。

当行のコーポレートメッセージである「信頼の、さらにその先へ。」には、お客さまに当行を「信じて頼って」いただき、さらにそれ以上の強い信頼関係を築くことを目指していく、という想いを込めています。当行は今後とも地域の皆さまに「信頼」され選ばれる銀行であるよう、役職員一同全力を尽くしてまいりますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

岩手銀行グループは、「いわぎんグループSDGs宣言」を策定し、持続可能地域が抱える社会問題や環境問題の解決に積極的に取り組み、SDGsの達成

な地域社会の実現に向けて、に貢献してまいります。



1 新型コロナウイルス影響拡大に伴う対応

日本政策金融公庫と連携し、資本性ローンを活用した協調融資スキームを創設。売上が急減するなど影響を受けているお取引先の事業の発展・継続を支援するため、公庫が扱う特別貸付を活用することで財務体質の強化をサポートしています。

協調融資
スキーム対応先数
24先
(2020年11月の
創設以降の累計)

2 事業承継・M&A

当行グループは地域の円滑な事業承継を積極的に支援しています。いわぎんコンサルティング(株)が主体となり、事業者の皆さまが抱えるさまざまな課題の解決へワンストップで最適なサービスを提供しています。

事業承継・
M&A支援先数
1,613先
※2019年4月～
2021年9月

3 脱炭素を後押し

脱炭素社会達成に向けて活動している自治体の取り組みを後押しするため、保有林J-クレジット(排出量取引)販売にかかるパートナー契約を締結し、環境保全の促進と購入事業者の企業価値向上を目指しています。



岩手県とパートナー契約を締結

4 地域ブランディング事業

manordaいわて(株)は、デザインとイノベーションの力で地域にある資源の魅力を最大限引き出すことを念頭に、一般社団法人岩手アートディレクターズクラブ所属のデザイナーやクリエイター等と地域事業者のマッチングによる地域ブランド品の開発のほか、盛岡市中心部におけるまちづくり・賑わい創出に取り組んでおります。



もりおかおみやげプロジェクト
「MOYANE(モヤーネ)」を企画

5 「いわぎんSDGs私募債」(寄付貢献型私募債)

2017年2月より、地元企業などが発行する私募債を当行が引き受け、私募債発行手数料の一部を寄付金として拠出し、私募債発行企業が指定する学校等に対して寄贈を行っています。2021年4月から名称を「いわぎんSDGs私募債」として、地域のSDGs達成へ積極的に取り組む団体等へも寄贈できるようにリニューアルしました。

累計引受実績
104社 101億円



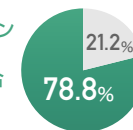
6 デジタル化への取り組み

急速に進展するデジタル化に対し、お客さまの利便性向上と業務効率化への支援強化を目的として、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。2021年4月にはマイカーローンのWEB完結サービスを導入、お客さまのデジタルシフトをサポートしています。

スマホ申込画面
24時間申込受付&契約まで来店不要



マイカーローン
実行に占める
WEB申込割合
2021年上期



7 TCFDへの賛同表明

近年、異常気象による被害が甚大化している状況を踏まえ、気候変動がお客さまや当行に及ぼすリスク・機会を分析・評価し、地域社会のカーボンフリー実現に貢献するため、2021年8月、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明しました。今後、気候変動に関連する情報開示の充実を図ってまいります。

